

おとさだ
乙 貞

第 211 号 通巻 37 巻 第 2 号
平成 29 (2017) 年 6 月 1 日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
TEL/FAX 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町 2 2 5 0 番地

新緑の爽やかな香りが立ち、季節が春から夏に移り変わっていくのを日々感じております。

新年度に入り、市内での発掘調査もあわただしく動き始めています。今号では、以前に報告より進展した吉身西遺跡の発掘調査の成果に加えて、当センターの様々な事業もご報告致します。

発掘調査だより

吉身西遺跡第 120 次調査

前号で一部報告しました守山市立図書館「本の森」改築事業に伴う発掘調査は、3月末に終了しました。今号はその総括としてお伝えします。

調査は旧図書館、建物の南東側に調査区 1、北西側に調査区 2 と調査区 3 を設定して実施しましたが、調査区 2、調査区 3 は攪乱が著しく、調査区 2 で 2 条の溝を検出するにとどまりました。

検出した遺構として、竪穴建物(SH)は 3 棟、掘立柱建物(SB) 2 棟、土坑(SK) 9 基以上、溝(SD) 12 条が見つかりました。既報と重なりますが順次説明をいたします。

SH-1 は、南北約 7.5m、東西約 6.5m の規模で、南北に少し長い建物です。建物の深さは検出面から約 10~20cm を測り、後世に削平を受けていたものと考えられます。ただ床面からは土坑やピットも多く見つかっており、北東隅辺りでは周壁溝のような浅い溝も確認されています。土坑は直径約 80cm から約 180cm もあり、土坑の一つからは、須恵器の杯身や蓋、高杯が遺構の壁に貼りつくかのような状態で見つかりました。このほか、ピットや埋土から、滑石製の管玉や臼玉、チップ(削りかす、破片)が出土しました。



▲土師器皿集積状況



▲灰釉皿出土状況

SH-2 は、SH-1 西側で 30cm ほど隔てて見つかりました。主軸はほぼ SH-1 と同様ですが、規模が南北約 7.8m、東西約 7.9m と、正方形に近い形状でした。床面まで約 20cm と浅く、中央近くでは、床の一部が焼けていたことから、炉跡と思われます。東隅と南隅では、深い土坑が掘られていて、貯蔵穴ではないかと思われます。特に東側の土坑から、直径 20cm もある須恵器の杯身が出土したほか、土師器などもまとまって出土しています。この竪穴建物からも滑石が出土しました。

砂利層上で検出した SH-3 は、一部を他の遺構に切り込まれていますが、3 辺を確認できました。たてもこ南側の隅は鋭角であることから、建物は方形プランでないことが考えられます。北東の辺の中央付近は少し外側にふくらみ、浅く焼けた粘土が確認できたことから、カマドがあったと考えられます。遺物は須恵器が出土しています。

SB-1 は、前号で短辺 3 間×長辺 4 間以上としていましたが、SD-1 の溝底で確認した土坑を柱穴とすると、長辺は 4 間の建物と思われます。遺物は須恵器、土師器が出土しており、古墳時代後期と思われます。

SB-2 は、調査区の西寄りで検出した 3 間×3 間の建物です。柱穴やその周辺から土師器や緑釉陶器の皿が出土していて、おおよそ 10 世紀～11 世紀の時期と思われます。

溝は SD-2 を除く SD-1～SD-6 が東西方向に流れ、SD-7～SD-10 は北東から南西方向に流れています。SD-1～SD-6 は砂混じりか砂質粘土で埋まり、SD-7～SD-10 は粘土層を埋土としていて、共に土師器や須恵器が出土し、古墳時代後期の遺構と考えられますが、遺構の切り合いの状況ですが、東西方向の溝が新しいようです。

調査区 2 の 2 条の溝もわずかに須恵器が出土しただけで、古墳時代後期と思われます。調査区 3 は全域が攪乱を受けていて、遺構、遺物は見つかりませんでした。

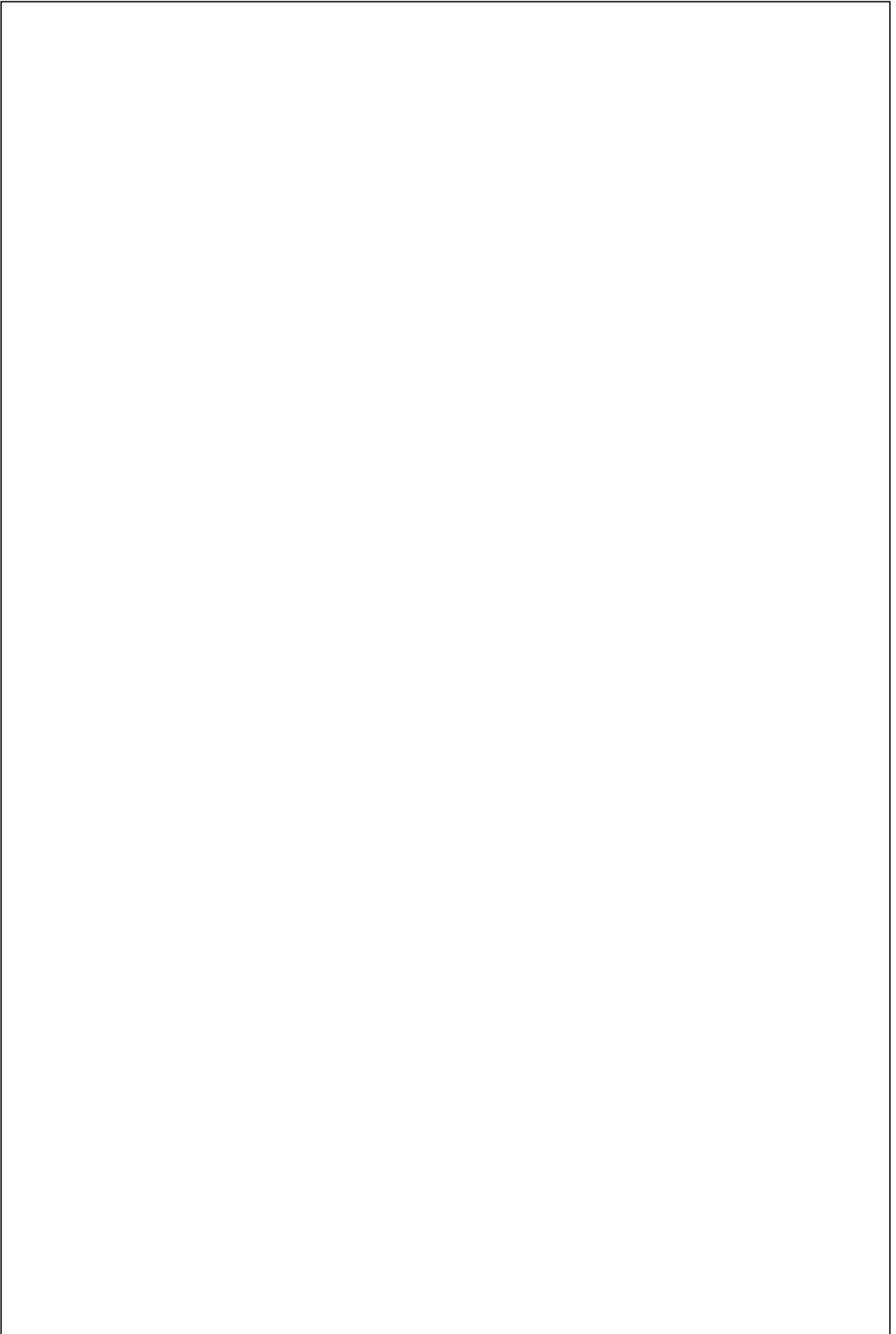
昭和 58 年(1988)以降、周辺で実施した調査では、弥生時代後期から平安時代まで竪穴建物や掘立柱建物、溝跡などの検出されており、今回の調査区でも見つかり、集落の広がりを確認できました。ただ、隣地の目田川河川改修時に実施した調査は、竪穴建物や掘立柱建物、溝など、弥生時代後期～平安時代の遺構で密度が高かったのに対し、南西側の駐車場及び宅地造成時の調査ではほとんど遺構が見られなかったことからすると、挟まれた今回の調査地は、遺跡の端に近い地点と考えられます。(畑本)



▲ 2. SH-2 全景(南から)



▲ 3. SH-3 全景(西から)



調査位置図



埋蔵文化財センター友の会だより



埋蔵文化財センター友の会

平成 29 年度総会・第 1 回見学会を開催しました！

5月21日(日)、多賀町立博物館におきまして総会と見学会を開催しました。総会閉会后、館長の小早川先生には、博物館設立のきっかけとなったアケボノゾウ発見のお話をさせていただきました。たいへん分かりやすく、有意義でした。

その後、多賀大社界隈を探索。地元滋賀といえども、中には数十年ぶりに訪れたという方もおられ、皆さん楽しんで下さったようです。

博物館のスタッフの皆さん、ありがとうございました！